

## 第 11 回夕張市高等学校対策委員会会議録

- 日 時 平成 27 年 12 月 2 日（水） 午後 6 時～午後 6 時 3 5 分
- 場 所 夕張中学校 2 階 多目的室
- 出席者 本田・波佐尾・鈴木・今・長田・白井・小網・伊藤・外尾・澤井・小林委員  
事務局 古村・堀

### 1 開 会

### 2 委員長挨拶 小林委員長

### 3 報告事項

#### (1) 高校教育検討委員会について【資料 1】 …………… 委員長より説明

委員長

私から、道教委が設置した「高校教育検討委員会」について若干お話しさせていただきます。

お手元に北海道通信と道新の記事があると思いますが、記事を読んでいただくと、どのような流れで検討委員会をこの時期に設置したかが分かると思います。

11 月に発表になったのですが、この間、都市教育長会ですとか町村教委連の要望、地域別検討協議会でとりわけキャンパス校がある地域での厳しい状況の中で、見直しをしようということでもあります。

ひとつは、今までキャンパス校については、単学級になった高校は原則廃止をして統合していくという原則、ただし地域によって子どもたちの地元高校への進学率が 50% 程度以上あればキャンパス校という形でした。

その数の基準が 20 名をひとつの基準にして進めて行こうというのが高校づくりの指針ということで、この場でも道教委から職員に来ていただいて説明を受けたところでもあります。

しかし、一方ではキャンパス校が増えていくわけで、現在 19 校、来春になると 20 校になりますが、現在すでに 5 校が 20 名を切っている状況で入学しております。

また、数年すると、おそらく半数以上、半数に近い数の高等学校で 20 を切るという状況になって、ある意味 9 年前に策定した新しい高校づくり指針がもうもたなくなってきた、そのような状況を受けて、道教委の内部に検討委員会を設置して、年度内に一定の結論を出そうということで現在動いているところであります。

その後の情報はなかなか掴むことができない訳ではありますが、何が一番の焦点になっていくのかについて、20 という枠はもう破綻しているわけですから、これが15になるのか10になるのかは分かりませんが、そういったことがひとつあるだろう。

もうひとつは、地域と言いますか、市町村の考え方、それぞれの街づくりなども含めて考え方をどのように尊重するかという問題と、もうひとつは、それぞれ小さい学校が色々な形で、夕張も来年度から始めようとしている、それぞれの地域の小さな学校の魅力化に向けた取組が、一定程度地域の人達に支持を受けている、そのような全体的な状況の中で、検討されていくのではないかというお話を、関係者としたところであります。

したがって、夕張も来年度、29年度そういったことが提案されてくるとすれば、年度内に道教委の中にある高校教育検討委員会の見直し（案）が、来年度適正配置の考え方の変化に関わりあってくるのではないかと考えております。

皆さんいかがでしょうか。

私は、昨年の地域別検討協議会の時に、もう策定から9年近くなるので、地域の状況、夕張でいうとこどもの数が半分以上少なくなっている、中学校を卒業する生徒の数も半分以上少なくなっている状況の中で、見直す必要性がどうかという質問をした経過もあります。

これは昨年のお話ですけども、その時にはまだそうはなっていないという返答でしたが、ある意味では、先ほど言ったようになかなかその考え方だけではいかなないということが出てきたと考えているところです。

今校長いかがでしょうか、何か情報がありましたらお願いしたいのですが。

委員

10数年前に私、浦幌高校におりました。

浦幌高校では19名になったとたんに閉校という形になりました。

ただ、その時の流れを見たら、町の動きとして何ら手をかけてきていないという現状で、ほぼなるようにしかならないという実情にあったことから、道教委も19名で閉校という形にしたという話を聞いております。

現時点で夕張市の取り組みは、非常に夕張高校に対して色々な働きかけをしてきている実情があって、今年は特にその動きが凄まじくなっているところから、すんなりと道教委は閉校という形にはしないというふうに、内々にはありますけれども聞いた経緯があります。

ただ、キャンパス校という流れはあったにしても、キャンパス校は分校ではない訳ですから、私はあまり動じる必要がない、逆にキャンパス校キャンパス校と皆さんの前で大きな声で拡声させることによって、不安をあおることになると思います。

そのような面では、もしキャンパス校になったとしても、キャンパス校には色々なメリットがあるということで、ポジティブな考え方を我々は考えていくべ

きではないかと思っております。

いずれにせよ、私としては、その20人というラインは何とかクリアしながら、その不安材料は払しょくしていきたいと思っております。

そのような面から、我々も独自に夕張高校においても色々な働きかけをしながら魅力化づくりに取り組んでいます。

ただ、数年かかって信頼を損ねてきたというところがある訳ですから、数年かかってそれを取り戻すというのが本来ではありますけれども、私は時間をかけてとは一切考えておりません。

とにかく、今与えられている時間の中で、キャンパス校しかり、色々な形で夕張高校のリスクを背負うような体制にならないように、迅速に対応していくような気構えでおります。

委員長

ありがとうございました。

その他何かありませんか、ご質問でも結構です。

よろしいですか、それでは次に協議に入りたいと思います。

#### 4 協議事項

##### (1) 夕張高等学校の魅力化について

###### ①対策委員会から市への要請書【資料2】

…………… 事務局より説明

事務局

「夕張高等学校の魅力化」についてであります。前回の対策委員会では、夕張高校からは来年度以降の方針として「夕張高校の目指す教育」、そして市のワーキンググループの検討結果が示され、委員の皆様から非常に素晴らしいものがあったという意見をいただいたところであります。

また、これらに関わって、予算が関わってくることもあり、本委員会としても「夕張高校の魅力化」について、市に対して要請を行っていくことを確認させていただいたところであります。

つきましては、今回市に対しての要請について、資料2のとおり、「夕張高等学校の魅力化に対する要請書」という形で市長へ要請しようと考えております。

それでは、読み上げさせていただきます。

(要請書読み上げ)

以上であります。この要請書に、次ページ以降の資料を添付して提出しようと考えておりますが、委員の皆様にはこの内容をご確認いただきますとともに、訂正、追記をした方がよいということがあれば修正をしてまとめていきたいと考えております。

なお、市長への提出につきましては、本委員会の委員長と副委員長、加えて夕張高校の校長先生を考えておりますので、ご協議いただければと思います。

	「夕張高等学校の魅力化」については以上であります。
委員長	事務局で要請書を作成いたしました。確認等をお願いいたします。
委員長	それでは只今指摘のあった部分は修正をし、もう一度整理をしたいと思っております。それから、説明にもありましたが、私と小網副委員長と今校長で要請に行きたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。
全委員	よろしくをお願いいたします。
事務局	要請の日につきましては、市長の日程もありますので、市長の日程確認を行い小網副委員長と今委員につきましては連絡を取り合いながら日程調整を行わせていただきたいと思いますと考えております。
委員長	今、市の方も来年度予算に向けて動き出している途中ですので、タイミングを見て提出していきたいと考えておりますのでよろしくをお願いいたします。それではその他に移ります。

## 5 その他

事務局	<p>次回の対策委員会の開催であります。先ほど委員長から説明もありましたが、高校教育検討委員会のこともありますので、そちらの方の進み方を見ながら、2月から3月の間になると思っております。その頃に予定したいと考えております。</p> <p>また、その時期になりましたらご案内は差し上げたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは以上をもちまして第11回の高校対策委員会を終了いたします。お疲れまでした。</p>

## 6 閉 会

### 配布資料等一覧

- 資料1 「高校教育検討委員会」に関する新聞記事
- 資料2-1 対策委員会から市への要請書
- 資料2-2 夕張高等学校の魅力化検討WGの検討結果
- 資料2-3 夕張高校の目指す教育